

# 日野市体育施設個別施設計画

令和 3 年 3 月

日 野 市



# 目次

## 第1章 はじめに

1 計画の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	1
3 計画期間	2
4 対象施設	2
5 計画の構成	3

## 第2章 体育施設の現状と課題

1 保有状況	4
2 配置状況	11
3 利用状況	12
4 施設関連経費・使用料収入の推移	13

## 第3章 個別施設の方向性に関する検討（1次評価）

1 個別施設の方向性に関する検討の方針	15
2 安全性・機能性	16
3 経済性	21
4 耐震性	21
5 施設の方向性及び整備手法の検討結果（1次評価）	22

## 第4章 スポーツ施設の基本方針に関する検討（2次評価）

1 基本方針の検討方法	23
2 政策優先度の評価	23
3 基本方針	24

## 第5章 具体的な取組

1 予防保全・長寿命化への転換の取組	25
2 整備方針	25
3 年次計画の策定	26

## 第6章 運用体制

1 情報基盤の整備と活用	31
2 推進体制と各事業への取組	31
3 計画のフォローアップ	31



## 1 計画の背景と目的

我が国においては、近年、建物や道路等、インフラ施設等の公共施設において老朽化対策が大きな問題となっており、さらなる少子高齢化や人口減少等により、公共施設等の利用需要が変化していくことが予想されます。それらを踏まえ、本市においても、公共施設等の現状を検証し、今後の最適配置や適正化を図ることが必要となっています。そこで本市では、引き続き市民が安全に安心して、快適に公共施設を利用することができるよう、施設の更新・統廃合・長寿命化、効果的かつ効率的な整備と管理運営等に向けた方針を示した「日野市公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定しました。

またスポーツ施設においては、スポーツ庁から、地方公共団体が安全なスポーツ施設を持続的に提供し、身近にスポーツに親しむことのできる環境を整備するための考えを示した「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」が平成30年3月に示されており、本市においても、本ガイドラインに基づくスポーツ施設の適正管理が求められています。

本市では、現在建替え工事を実施している（仮称）南平体育館をはじめ、市民の森ふれあいホールや市民プール、市民陸上競技場等の全体育施設について、老朽化対策や現施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの削減、施設の有効活用及び効率的かつ円滑な更新が求められています。

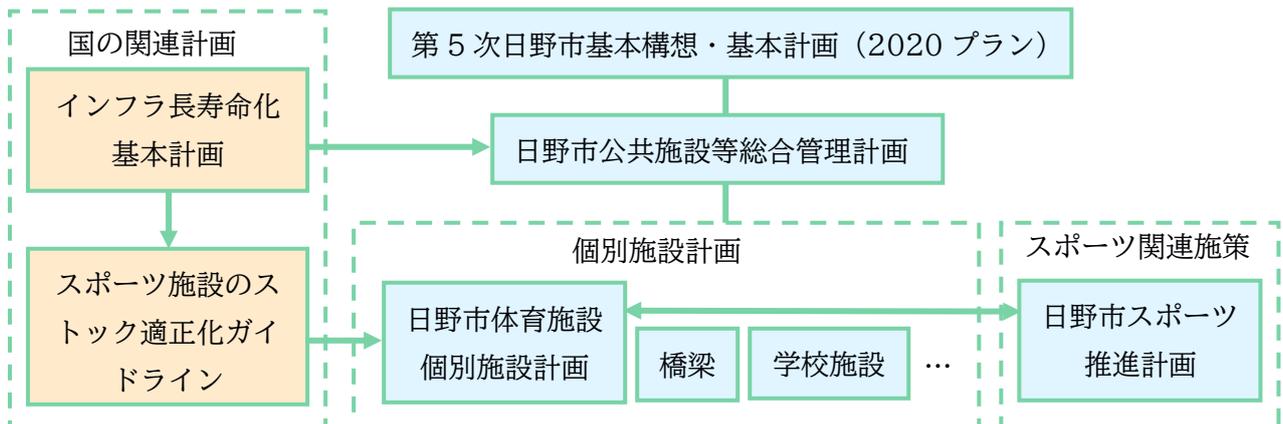
このことから、「日野市公共施設等総合管理計画」や、スポーツ庁が示す「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」に基づき、現地調査を踏まえた劣化診断・施設評価を行い、ライフサイクルコスト・保全優先度を勘案し、策定した基本方針を踏まえ、具体的な取組と施設ごとに年次計画を示した個別施設計画を策定することを目的とします。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、「日野市公共施設等総合管理計画」に基づき体育施設の具体の対応方針を定めた個別施設計画に位置づけられます。

なお、本計画は体育施設のそれぞれ今後の施設管理の方向性を示したものであり、施設の統廃合や更新の是非については、施設建替の際に社会情勢を踏まえて検討を行うものとしします。

図表 1-1 計画の位置づけ



### 3 計画期間

本計画の計画期間は、上位計画である「日野市公共施設等総合管理計画」と整合性をとるため、令和3年度（2021年度）から、令和28年度（2046年度）までとし、以下の計画期間に区分します。

- 短期計画期間 : 令和3年度（2021年度）から令和7年度（2025年度）…5年間  
 中期計画期間 : 令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）…5年間  
 長期計画期間 : 令和13年度（2031年度）から令和28年度（2046年度）…16年間

短期計画期間は本計画に基づいた施設運用について、現状及び社会情勢等と照らしあわせ、計画の実行性を検証する期間とします。また、人口状況、財政状況、施設の老朽化状況等との整合を図るため、最終年である令和7年度（2025年度）に適切な評価・改善のもと見直しを行います。中期計画期間は短期計画期間の見直しに基づき、適切に計画を運用していく期間とします。長期計画期間は短期及び中期計画期間の10年間の効果検証に基づき、長期的な視点で計画を遂行するものとします。

### 4 対象施設

本計画の対象施設は屋内施設、屋外プール等の「公共建築物」及び陸上競技場、野球場等の「公共建築物以外」の施設で分類します。

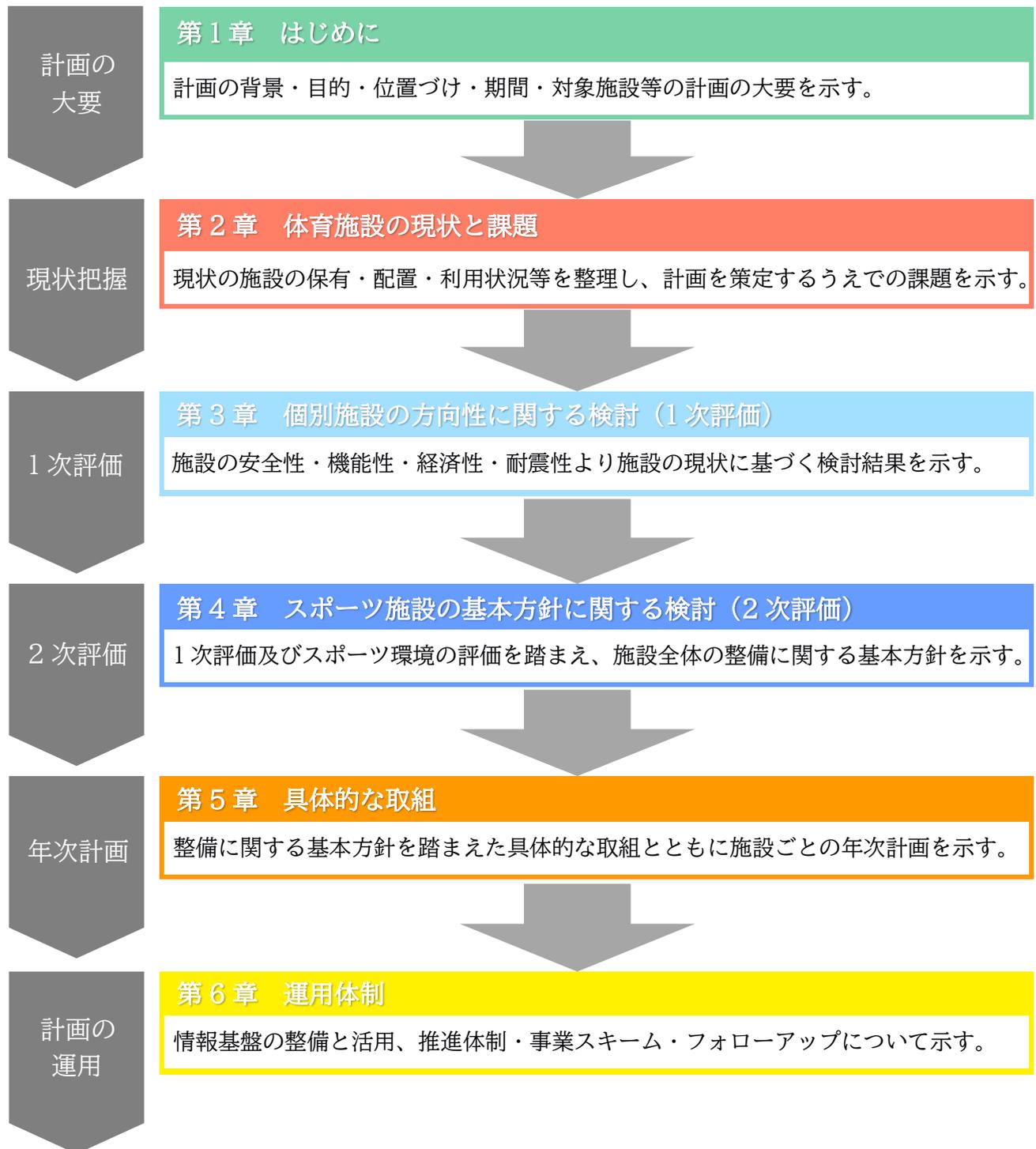
図表 1-2 対象施設表

分類	番号	施設名	所在地	施設種別
公共建築物	①	日野市市民の森ふれあいホール	日野市日野本町 6-1-3	複合施設
	②	日野市立南平体育館	日野市南平 4-23-1	体育館
	③	日野市民プール	日野市大字川辺堀之内 190 番地先	屋外プール
公共建築物以外	④	日野市民陸上競技場	日野市日野本町 7-12-1	陸上競技場
	⑤	浅川スポーツ公園グラウンド	日野市万願寺 5-3-7	グラウンド
	⑥	北川原公園グラウンド	日野市石田 1-236	グラウンド
	⑦	実践女子学園グラウンド	日野市神明 1-13-1	グラウンド
	⑧	万願寺中央公園グラウンド	日野市万願寺 4-20-12	グラウンド
	⑨	日野市立多摩川グラウンド	日野市万願寺 1-1-2 先	グラウンド
	⑩	日野市立東光寺グラウンド	日野市栄町 3-15 番地先	グラウンド
	⑪	多摩平第一公園グラウンド	日野市多摩平 4-2	グラウンド
	⑫	旭が丘中央公園グラウンド	日野市旭が丘 5-1-1	グラウンド
	⑬	多摩平第一公園テニスコート	日野市多摩平 4-2	テニスコート
	⑭	旭が丘中央公園テニスコート	日野市旭が丘 5-1-1	テニスコート
	⑮	日野市立七生自然学園テニスコート	日野市落川 1400 番地	テニスコート

## 5 計画の構成

本計画は、計画の基本的な大要を示す第1章、現状の施設の保有・配置・利用状況等を示す第2章、施設の現状に基づく検討を示す第3章、政策優先度の分析、基本方針を示す第4章、整備に係る具体的な取組を示す第5章、計画の運用体制を示す第6章で構成されます。

図表 1-3 計画の構成イメージ



## 第2章

# 体育施設の現状と課題

## 1 保有状況

公共スポーツ施設は市内で15施設となっており、体育館等の屋内施設が2施設、陸上競技場が1施設、野球場が6施設、サッカー場等の多目的運動広場が2施設、テニスコートが3施設あります。現状の施設における基本情報を以下に示します。

### 【市民の森ふれあいホール】

基本情報			施設概要
施設	施設名称	日野市市民の森ふれあいホール	スポーツ・文化の交流拠点として整備。平成25年度に開催された東京国体など、大規模イベントの利用が可能な施設であると同時に、2階諸室は調理室や音楽室などの公民館的機能（生涯学習機能）を設けており、多様な利用者ニーズを受け入れることが可能。  【諸室】 ・コミュニティホール（2,352㎡）・多目的ルーム（713㎡）・コミュニティルーム1（199㎡）・コミュニティルーム2（186㎡）・集会室2-1（128㎡）・集会室2-2（93㎡）・集会室2-3（音楽室）（51㎡）・集会室2-4（調理室）（111㎡）・ギャラリー（79㎡）
	所在地	日野市日野本町6-1-3	
	施設種別	複合施設	
	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物	
概要	開設年月日	平成24年3月11日	
	市設置条例	日野市市民の森ふれあいホール条例	
	施設の運営形態	指定管理者制度	
	施設管理者	シンコースポーツ・アズビル共同事業体	
	指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
	主な利用者	市民・体育協会加盟団体・東京ヴェルディほか	
	土地面積	12,011.03㎡	
土地情報	うち市有面積	12,011.03㎡	
	用途地域	第2種中高層住居専用地域	
	駐車場設置有無	有 127台 有料	
	総延床面積	7,330.98㎡	
建物情報	階数（主たる建物）	地上2階	
	構造（主たる建物）	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	
	耐震対応（主たる建物）	新耐震基準	
	竣工年月日	平成23年10月31日	
	経過年数／法定耐用年数	8／47	
	実施競技	種目・面数①	バスケットボールコート 2面
	種目・面数②	バレーボールコート 3面	
	種目・面数③	バドミントンコート 12面	
	種目・面数④	フットサルコート 1面	



### 【南平体育館】

基本情報			施設概要
施設	施設名称	日野市立南平体育館	昭和54年に竣工してから年間9万人を超える利用者がいたが、施設の老朽化が進むとともに、建物の主要構造が建築基準法第38条の「大臣認定」を取得した特殊な構造の建築物であり、一般的な耐震診断基準が適用できない建物であることから、利用者の安全を確保するために建替え工事を実施中。令和元年12月より施設の解体工事、令和2年6月より建設工事を開始。令和3年12月竣工予定。
	所在地	日野市南平4-23-1	
	施設種別	体育館	
	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物	
概要	開設年月日	令和4年4月（予定）	
	市設置条例	日野市体育施設条例	
	施設の運営形態	—	
	施設管理者	—	
	指定管理期間	—	
	主な利用者	市民・体育協会加盟団体ほか	
	土地面積	6,728.067㎡	
土地情報	うち市有面積	6,728.067㎡	
	用途地域	第2種中高層住居専用地域	
	駐車場設置有無	有 63台 有料（予定）	
	総延床面積	5,012.948㎡	
建物情報	階数（主たる建物）	地上2階	
	構造（主たる建物）	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造	
	耐震対応（主たる建物）	新耐震基準	
	竣工年月日	令和3年12月28日（予定）	
	経過年数／法定耐用年数	0／47	
	実施競技	種目・面数①	バスケットボールコート 2面
	種目・面数②	バレーボールコート 2面	
	種目・面数③	バドミントンコート 8面	
	種目・面数④	フットサルコート 1面	



## 【市民プール】

基本情報			施設概要
施設	施設名称	日野市民プール	多摩川の汚染によって水泳が不可能になったことから昭和40年に大プール（50m×17m）、小プール（25m×10m）、幼児用プールを備えた屋外プールを開設。平成5年の大規模改修後も屋外プールとして例年7月下旬から9月上旬に多くの利用者が訪れている。  【主な施設】 管理棟、50mプール、25mプール、幼児用プール、機械室
	所在地	日野市大字川辺堀之内190番地先	
	施設種別	屋外プール	
概要	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物	
	開設年月日	昭和40年8月	
	市設置条例	日野市体育施設条例	
	施設の運営形態	指定管理者制度	
	施設管理者	シンコースポーツ（株）	
土地情報	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
	主な利用者	市民	
	土地面積	5988.7㎡	
	うち市有面積	0㎡	
建物情報	用途地域	市街化調整区域	
	駐車場設置有無	敷地外に約150台 無料	
	総延床面積	839.49㎡	
	階数（主たる建物）	地上2階	
	構造（主たる建物）	鉄筋コンクリート造	
	耐震対応（主たる建物）	新耐震基準	
工作物情報	竣工年月日	平成5年6月16日	
	経過年数／法定耐用年数	27／47	
	工作物名称	50mプール	
	総面積	50m×17m 水深1.2m～1.4m	
	構造	コンクリート造	
	竣工年月日	平成5年6月16日	
	経過年数／法定耐用年数	27／30	
	工作物名称	25mプール	
	総面積	25m×10.4m 水深1.2m～1.3m	
	構造	コンクリート造	
実施競技	竣工年月日	平成5年6月16日	
	経過年数／法定耐用年数	27／30	
	種目・面数①	サッカーコート 1面	
	種目・面数②	陸上トラック 400m×7レーン	
工作物情報	工作物名称	グラウンド	
	総面積	7,102㎡	
	構造	人工芝	
	竣工年月日	平成26年1月	
	経過年数／法定耐用年数	7／10	
	工作物名称	トラック	
工作物情報	総面積	3,841㎡	外周フェンス
	構造	土	—
	竣工年月日	昭和62年3月18日	金属
	経過年数／法定耐用年数	33／30	昭和62年

## 【陸上競技場】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	日野市民陸上競技場	市内唯一の陸上競技場として、またトラック中央部はグラウンドとして利用されている。平成25年10月に開催される東京国体ホッケー競技の試合会場として、平成24年3月に従来の土グラウンドからホッケー用の人工芝へ、東京国体終了後にはサッカー用人工芝への張替え工事（平成25年11月～平成26年1月）を実施。  【施設】 ・トラック（400m×7コース） ・フィールド（人工芝）（1面） ・会議室（管理棟内）（約91㎡）	
	所在地	日野市日野本町7-12-1		
	施設種別	陸上競技場・グラウンド		
概要	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外		
	開設年月日	昭和62年6月1日		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	業務委託		
	施設管理者	（一社）日野市体育協会		
土地情報	指定管理期間	—		
	主な利用者	市民・体育協会加盟団体ほか		
	土地面積	17,277.24㎡		
	うち市有面積	17,277.24㎡		
建物情報	用途地域	第1種低層住居専用地域		
	駐車場設置有無	有 40台 有料		
	総延床面積	594.1㎡		
	階数（主たる建物）	地上1階		
	構造（主たる建物）	鉄骨造		
	耐震対応（主たる建物）	新耐震基準		
実施競技	竣工年月日	昭和62年3月18日		
	経過年数／法定耐用年数	33／34		
工作物情報	種目・面数①	サッカーコート 1面		
	種目・面数②	陸上トラック 400m×7レーン		
	工作物名称	グラウンド		
	総面積	7,102㎡		
	構造	人工芝		
	竣工年月日	平成26年1月		
工作物情報	経過年数／法定耐用年数	7／10		外周フェンス
	工作物名称	トラック		—
	総面積	3,841㎡	金属	
	構造	土	昭和62年	
工作物情報	竣工年月日	昭和62年3月18日	昭和62年	
	経過年数／法定耐用年数	33／30	33／10	

【浅川スポーツ公園グラウンド】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	浅川スポーツ公園グラウンド	開設後は土のサッカー場として利用されてきたが、長年にわたり砂塵によって近隣に迷惑をかけてきたため、平成10年に防塵ネット設置、平成11～14年度まで防塵処理剤散布の実施、平成15年度には北側にキンモクセイ40本の植樹、平成16年度に荒木田土にバルサンドを耕運して混ぜて土壌の改良を行ったが、効果があがらず平成18年度にフィールドの人工芝改修工事を実施。基礎部分の工事を行っていなかったため人工芝の法定耐用年数を超えると不陸や芝の損傷が目立ち、利用者の安全確保の観点より、令和元年度に基礎工事を含む人工芝改修工事を実施。	
	所在地	日野市万願寺5-3-7		
	施設種別	グラウンド		
概要	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外		
	開設年月日	平成4年4月1日		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
土地情報	主な利用者	市民・体育協会加盟団体		
	土地面積	11,548㎡		
	うち市有面積	11,548㎡		
	用途地域	第1種低層住居専用地域		
実施競技	駐車場設置有無	有 50台 無料		
	種目・面数①	サッカーコート 1面		
工作物情報	種目・面数②	少年サッカーコート 2面		
	工作物名称	グラウンド		
	総面積	8,307㎡		
	構造	人工芝		
	竣工年月日	令和2年3月		
	経過年数／法定耐用年数	人工芝： 1／10 基礎部分： 1／30		
	工作物名称	東西北側フェンス		北側防球ネット
	総面積	—		—
	構造	金属		コンクリート柱
	竣工年月日	平成12年度		平成10年 ※平成26年度に2m嵩上げ
	経過年数／法定耐用年数	20／10		22／15
	工作物名称	南側フェンス	南側防球ネット	
	総面積	—	—	
	構造	金属	コンクリート柱	
	竣工年月日	平成18年度	令和2年3月	
	経過年数／法定耐用年数	14／10	1／15	
	工作物名称	東側防球ネット	管理棟（ユニットハウス）	
	総面積	—	9㎡	
	構造	コンクリート柱	軽量鉄骨造	
	竣工年月日	平成10年 ※平成22年度に2m嵩上げ	平成23年度設置	
経過年数／法定耐用年数	22／15	9／19		

【北川原公園グラウンド】

基本情報			施設概要
施設	施設名称	北川原公園グラウンド	北川原公園内に設置された多目的広場。土日祝はサッカー場として主に日野市サッカー連盟の大会等で利用。平日は公園として開放。
	所在地	日野市石田1-236	
	施設種別	グラウンド	
概要	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外	
	開設年月日	平成13年9月1日	
	市設置条例	日野市体育施設条例	
	施設の運営形態	指定管理者制度	
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）	
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
土地情報	主な利用者	日野市サッカー連盟	
	土地面積	13,016㎡	
	うち市有面積	0㎡	
	用途地域	準工業地域	
実施競技	駐車場設置有無	無 ※近隣に北川原公園有料駐車場40台有	
	種目・面数①	サッカーコート 1面	
工作物情報	種目・面数②	少年サッカーコート 2面	
	工作物名称	グラウンド	
	総面積	13,016㎡	
	構造	土	
	竣工年月日	平成13年9月1日	
経過年数／法定耐用年数	19／30		

【実践女子学園グラウンド】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	実践女子大学グラウンド	ソフトボール、少年軟式野球場として整備するために、実践女子学園から土地を借用し、平成29年度にグラウンドを整備。砂塵対策のため内野部分は人工芝を敷設。平日は実践女子学園運動部の練習で使用し、土日祝はソフトボール及び少年軟式野球のみ開放	
	所在地	日野市神明1-13-1、2、4		
	施設種別	グラウンド		
公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外			
概要	開設年月日	平成30年4月1日		
	市設置条例	学校法人の所有するグラウンドの使用に関する要綱		
	施設の運営形態	業務委託		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	—		
主な利用者	実践女子大学学生、体育協会加盟団体			
土地情報	土地面積	25,276.08㎡		
	うち市有面積	0㎡		
	用途地域	第2種中高層住居専用地域		
	駐車場設置有無	有 30台		
実施競技	種目・面数	野球場 1面		
工作物情報	工作物名称	グラウンド		
	総面積	14,000㎡		
	構造	内野：人工芝 外野：土		
	竣工年月日	平成30年3月		
	経過年数／法定耐用年数	内野人工芝：3／10 内野基礎・外野：3／30		
	工作物名称	防球ネット	トイレ	
	総面積	—	7.8㎡	
	構造	コンクリート柱	RC造	
	竣工年月日	平成30年3月	平成30年3月	
	経過年数／法定耐用年数	3／15	3／38	
	工作物名称	ベンチ屋根	倉庫	
	総面積	—	27.9㎡	
	構造	鉄骨造	鉄骨造	
	竣工年月日	平成30年3月	平成30年3月	
	経過年数／法定耐用年数	3／15	3／31	

【万願寺中央公園グラウンド】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	万願寺中央公園グラウンド	平成13年4月より供用開始したグラウンド。少年軟式野球やソフトボールで利用される施設。市所有の野球場で唯一の有料施設。	
	所在地	日野市万願寺4-20-12		
	施設種別	グラウンド		
公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外			
概要	開設年月日	平成13年4月1日		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
主な利用者	市民・体育協会加盟団体			
土地情報	土地面積	11,300㎡		
	うち市有面積	11,300㎡		
	用途地域	第1種低層住居専用地域		
	駐車場設置有無	有 40台 無料		
実施競技	種目・面数	野球場 1面		
工作物情報	工作物名称	グラウンド		バックネット
	総面積	11,300㎡		—
	構造	土		基礎：コンクリート造 ネット：金属
	竣工年月日	平成13年4月1日		平成13年4月1日
	経過年数／法定耐用年数	19／30		基礎：19／30 ネット：19／10
	工作物名称	ダッグアウト	ダッグアウト（ホーム裏）	
	総面積	—	—	
	構造	金属	金属	
	竣工年月日	平成13年4月1日	平成13年4月1日	
	経過年数／法定耐用年数	19／15	19／15	
	工作物名称	防球ネット	ファールボール	
	総面積	—	—	
	構造	コンクリート柱	金属	
	竣工年月日	平成13年4月1日	平成13年4月1日	
	経過年数／法定耐用年数	19／15	19／15	

【多摩川グラウンド】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	日野市立多摩川グラウンド	国土交通省京浜河川事務所より河川敷内の土地を借りて昭和42年に野球場2面、バレーボールコート7面を整備後、平成元年に管理棟を建設し、平成5年には下流側に少年サッカー場2面を整備。令和元年10月に日本列島を直撃した台風19号の浸水により、野球場及び少年サッカー場の復旧工事を実施し、令和2年4月より施設再開。	
	所在地	日野市万願寺1-1-2先		
	施設種別	グラウンド		
概要	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外		
	開設年月日	昭和42年5月		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
	主な利用者	市民・体育協会加盟団体		
土地情報	土地面積	22,389㎡		
	うち市有面積	0㎡		
	用途地域	市街化調整区域		
	駐車場設置有無	無 ※近隣に北川原公園有料駐車場40台有		
建物情報	総延床面積	181.3㎡		
	階数（主たる建物）	地上2階		
	構造（主たる建物）	軽量鉄骨造		
	耐震対応（主たる建物）	新耐震基準		
	竣工年月日	平成元年		
実施競技	種目・面数①	野球場 2面		
	種目・面数②	少年サッカー場 2面		
工作物情報	工作物名称	グラウンド	 	
	総面積	22,389㎡		
	構造	土		
	竣工年月日	令和2年3月		
	経過年数／法定耐用年数	1／30		
	工作物名称	バックネット		ファールボール
	総面積	—		—
	構造	金属		金属
	竣工年月日	令和2年3月		令和2年3月
	経過年数／法定耐用年数	1／15		1／15

【東光寺グラウンド】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	日野市立東光寺グラウンド	国土交通省京浜河川事務所より河川敷内の土地を借りて昭和62年に野球場1面を整備。平成24年には暫定的に開放していた多目的広場を再整備。野球のほかグラウンドゴルフ等でも頻りに利用される。	
	所在地	日野市栄町3-15番地先		
	施設種別	グラウンド		
概要	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外		
	開設年月日	昭和62年6月		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
	主な利用者	市民・体育協会加盟団体		
土地情報	土地面積	16,666㎡		
	うち市有面積	0㎡		
	用途地域	市街化調整区域		
	駐車場設置有無	無		
実施競技	種目・面数①	野球場 1面		
	種目・面数②	多目的広場 1面		
工作物情報	工作物名称	グラウンド		
	総面積	16,666㎡		
	構造	土		
	竣工年月日	昭和62年 ※H19整地業務		
	経過年数／法定耐用年数	33／30		
	工作物名称	バックネット（A面）		外野ネット
	総面積	—		—
	構造	金属		コンクリート造
	竣工年月日	昭和62年		平成24年
	経過年数／法定耐用年数	33／15		8／15
工作物名称	バックネット（多目的広場）	南側フェンス		
総面積	—	—		
構造	金属	金属		
竣工年月日	平成24年	昭和62年		
経過年数／法定耐用年数	8／15	33／10		

【多摩平第一公園グラウンド】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	多摩平第一公園グラウンド	多摩平第一公園内に設置されたグラウンド。少年軟式野球やソフトボール、グラウンドゴルフなどで利用される。利用が無い時間帯については公園として開放。また、3月下旬から4月中旬まで桜の開花に合わせて、地域開放している。	
	所在地	日野市多摩平4-2		
	施設種別	グラウンド		
	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外		
概要	開設年月日	昭和44年4月		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
土地情報	主な利用者	市民		
	土地面積	6,296㎡		
	うち市有面積	6,296㎡		
	用途地域	第1種中高層住居専用地域		
実施競技	種目・面数	野球場 1面		
工作物情報	工作物名称	グラウンド	防球ネット	
	総面積	6,296㎡		
	構造	土		
	竣工年月日	昭和44年		
	経過年数／法定耐用年数	59／30		
	工作物名称	バックネット		防球ネット
	総面積	—		—
	構造	基礎：コンクリート造 ネット：金属		コンクリート造
	竣工年月日	昭和44年		平成21年
	経過年数／法定耐用年数	基礎：59／30 ネット：59／10		11／15

【旭が丘中央公園グラウンド】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	旭が丘中央公園グラウンド	旭が丘中央公園内に野球場を整備。軟式野球やソフトボール、グラウンドゴルフで利用される。利用の無い時間帯は公園として開放。また桜の開花に合わせて、3月下旬から4月中旬まで地域開放をしている。	
	所在地	日野市旭が丘5-1-1		
	施設種別	グラウンド		
	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外		
概要	開設年月日	昭和44年3月		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
土地情報	主な利用者	市民		
	土地面積	8,793㎡		
	うち市有面積	8,793㎡		
	用途地域	第1種低層住居専用地域		
実施競技	種目・面数	野球場 1面		
工作物情報	工作物名称	グラウンド	バックネット	
	総面積	8,793㎡	—	
	構造	土	基礎：コンクリート造 ネット：金属	
	竣工年月日	昭和44年3月	昭和44年3月 ※平成22年ネット部分修繕	
	経過年数／法定耐用年数	51／30	基礎：51／30 ネット：11／10	

【多摩平第一公園テニスコート】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	多摩平第一公園テニスコート	昭和44年に多摩平第一公園内にテニスコートを設置。クレーコートのため前日が雨天の場合は、コートメンテナンス等により利用不可であったことから、平成27年度に施設稼働率向上を目的に1~4番コートを人工芝化するとともに、夜間照明を設置したことにより利用コマの増加を図った。なお、5、6番コートは現在もクレーコートとしてソフトテニス愛好家に親しまれている。	
	所在地	日野市多摩平4-2		
	施設種別	テニスコート		
公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外			
概要	開設年月日	昭和44年4月		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
	主な利用者	市民・体育協会加盟団体		
土地情報	土地面積	3,540㎡		
	うち市有面積	3,540㎡		
	用途地域	第1種中高層住居専用地域		
	駐車場設置有無	無		
実施競技	種目・面数	テニスコート6面		
工作物情報	工作物名称	テニスコート（1~4番）		
	総面積	2,360㎡		
	構造	人工芝		
	竣工年月日	平成27年3月		
	経過年数／法定耐用年数	5／10		
	工作物名称	テニスコート（5、6番）	フェンス（5,6番）	
	総面積	1,180㎡	—	
	構造	土	金属	
	竣工年月日	昭和44年4月	令和2年3月	
	経過年数／法定耐用年数	59／30 ※2年に1回掘削工事	1／10	
	工作物名称	フェンス（1~4番）	夜間照明	
	総面積	—	6基	
	構造	金属	コンクリート柱	
	竣工年月日	平成27年3月	平成11年4月11日	
経過年数／法定耐用年数	5／10	21／15		

【旭が丘中央公園テニスコート】

基本情報			施設概要	
施設	施設名称	旭が丘中央公園テニスコート	昭和44年に旭が丘中央公園内に設置されたテニスコート。平成22年度に施設稼働率の向上を目的に人工芝化された。	
	所在地	日野市旭が丘5-1-1		
	施設種別	テニスコート		
公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外			
概要	開設年月日	昭和44年3月		
	市設置条例	日野市体育施設条例		
	施設の運営形態	指定管理者制度		
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）		
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
	主な利用者	市民		
土地情報	土地面積	2,096㎡		
	うち市有面積	2,096㎡		
	用途地域	第1種低層住居専用地域		
	駐車場設置有無	有 13台		
実施競技	種目・面数	テニスコート3面		
工作物情報	工作物名称	テニスコート		フェンス
	総面積	2,096㎡		—
	構造	人工芝		金属
	竣工年月日	平成22年度		平成22年度
	経過年数／法定耐用年数	10／10		10／10

## 【七生自然学園テニスコート】

基本情報			施設概要
施設	施設名称	日野市立七生自然学園テニスコート	千代田区が昭和16年10月に竣工後、区民の憩いの場として七生自然学園として開放。平成14年度末で千代田区が七生自然学園・屋外体育施設の用途廃止に伴い、日野市で跡地の有効利用について検討。平成16年度よりテニスコートの供用を開始。市公共施設で唯一のハードコートとして利用されている。
	所在地	日野市落川1400番地	
	施設種別	テニスコート	
概要	公共建築物／公共建築物以外	公共建築物以外	
	開設年月日	昭和16年10月	
	市設置条例	日野市体育施設条例	
	施設の運営形態	指定管理者制度	
	施設管理者	フクシ・エンタープライズ（株）	
	指定管理期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日	
土地情報	主な利用者	市民	
	土地面積	4,662㎡	
	うち市有面積	4,662㎡	
	用途地域	第1種低層住居専用地域	
実施競技	駐車場設置有無	12台	
	種目・面数	テニスコート4面	
工作物情報	工作物名称	テニスコート	フェンス
	総面積	2,500㎡	—
	構造	ハードコート	金属
	竣工年月日	不明	不明
	経過年数／法定耐用年数	16年以上／10	16年以上／10



## 2 配置状況

市内における体育施設の配置状況は図表 2-1 に示すとおり、比較的バランスの良い配置状況となっています。

図表 2-1 配置状況

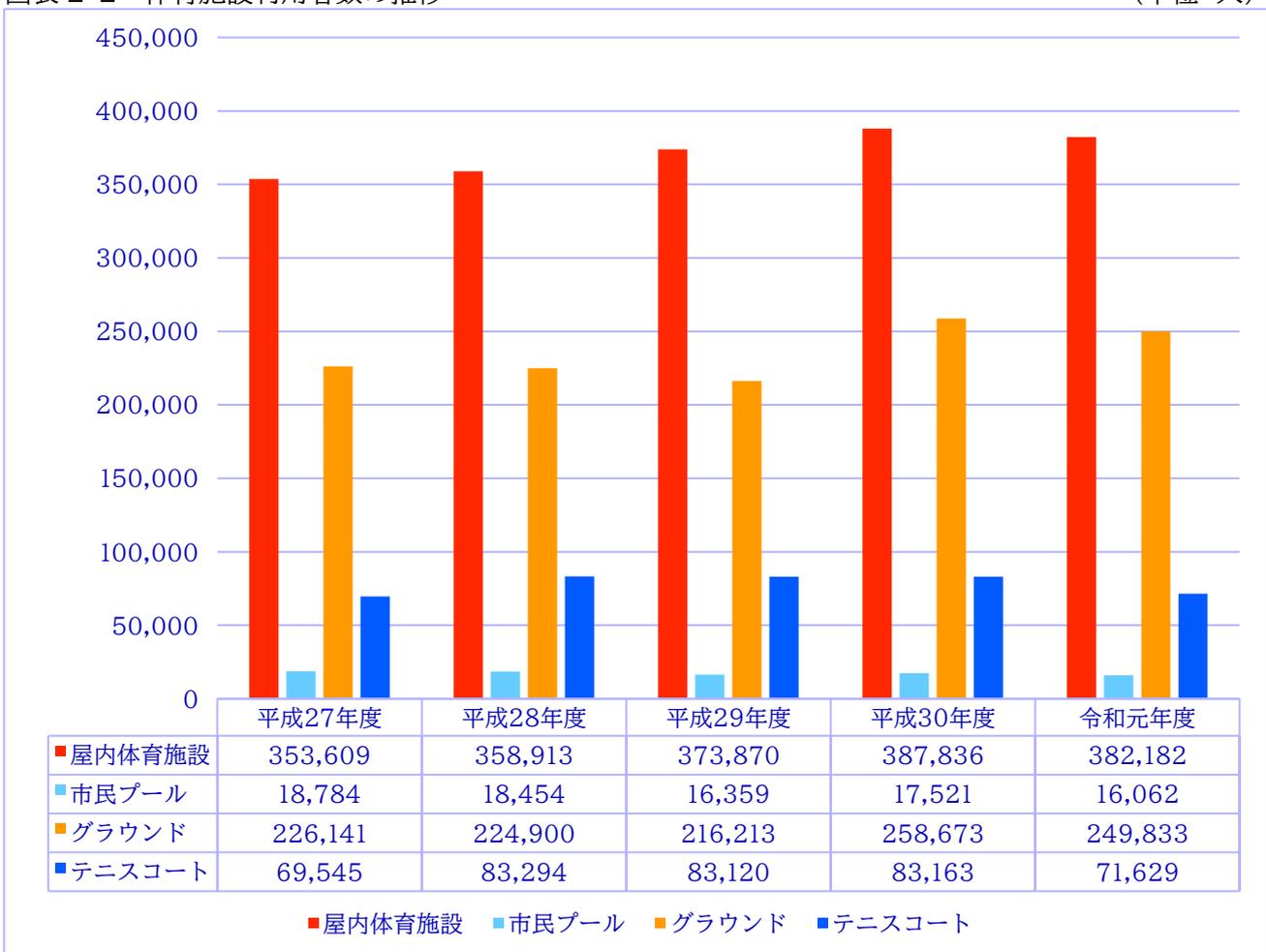


### 3 利用状況

図表 2-2 に示すとおり、①屋内体育施設（市民の森ふれあいホール、南平体育館）、②市民プール、③グラウンド（陸上競技場、野球場、サッカー場）、④テニスコートに分類しました。屋内体育施設及びグラウンドについては、新型コロナウイルス感染症による外出自粛の影響で利用者が減少した令和元年度を除いて年々増加傾向にあるが、市民プールは平成 27 年度をピークに減少傾向にあります。テニスコートは平成 28 年度をピークにそれぞれ減少傾向にあるが、14 頁図表 2-4 で示すとおり利用料収入は平成 30 年度がピークであることから利用数は減少せず、少人数での利用に移行していることが分かります。

図表 2-2 体育施設利用者数の推移

(単位：人)



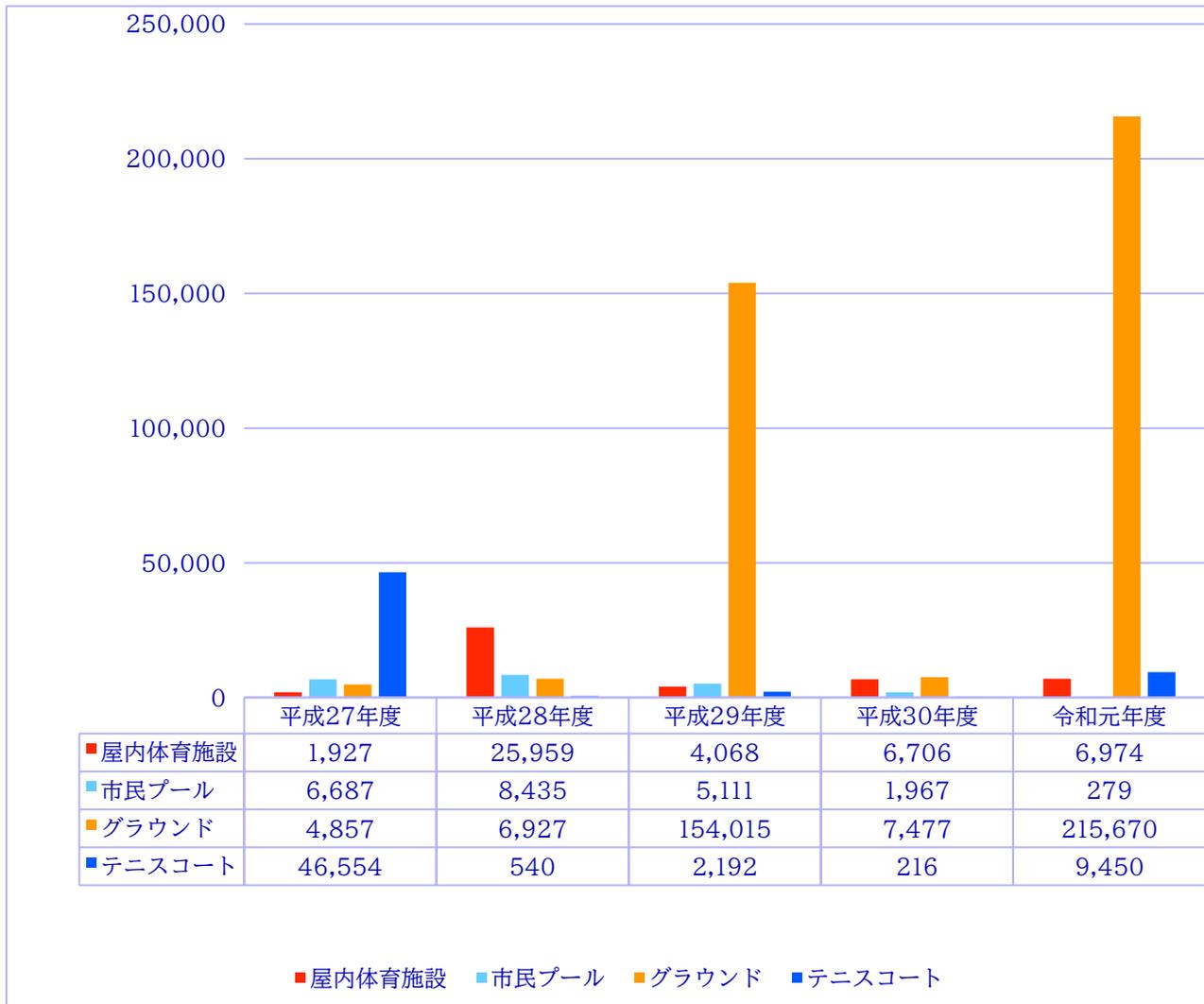
## 4 施設関連経費・使用料収入の推移

### (1) 施設関連経費の推移

図表 2-3 で示すとおり、平成 27 年度に多摩平第一公園テニスコートの人工芝敷設工事、平成 28 年度に市民の森ふれあいホールの 2 階観覧席修繕、平成 29 年度に実践女子学園グラウンドの整備、令和元年度に浅川スポーツ公園グラウンドの人工芝張替工事を実施したため、該当年度については施設関連経費が増加しています。

図表 2-3 施設関連経費の推移

(単位：千円)

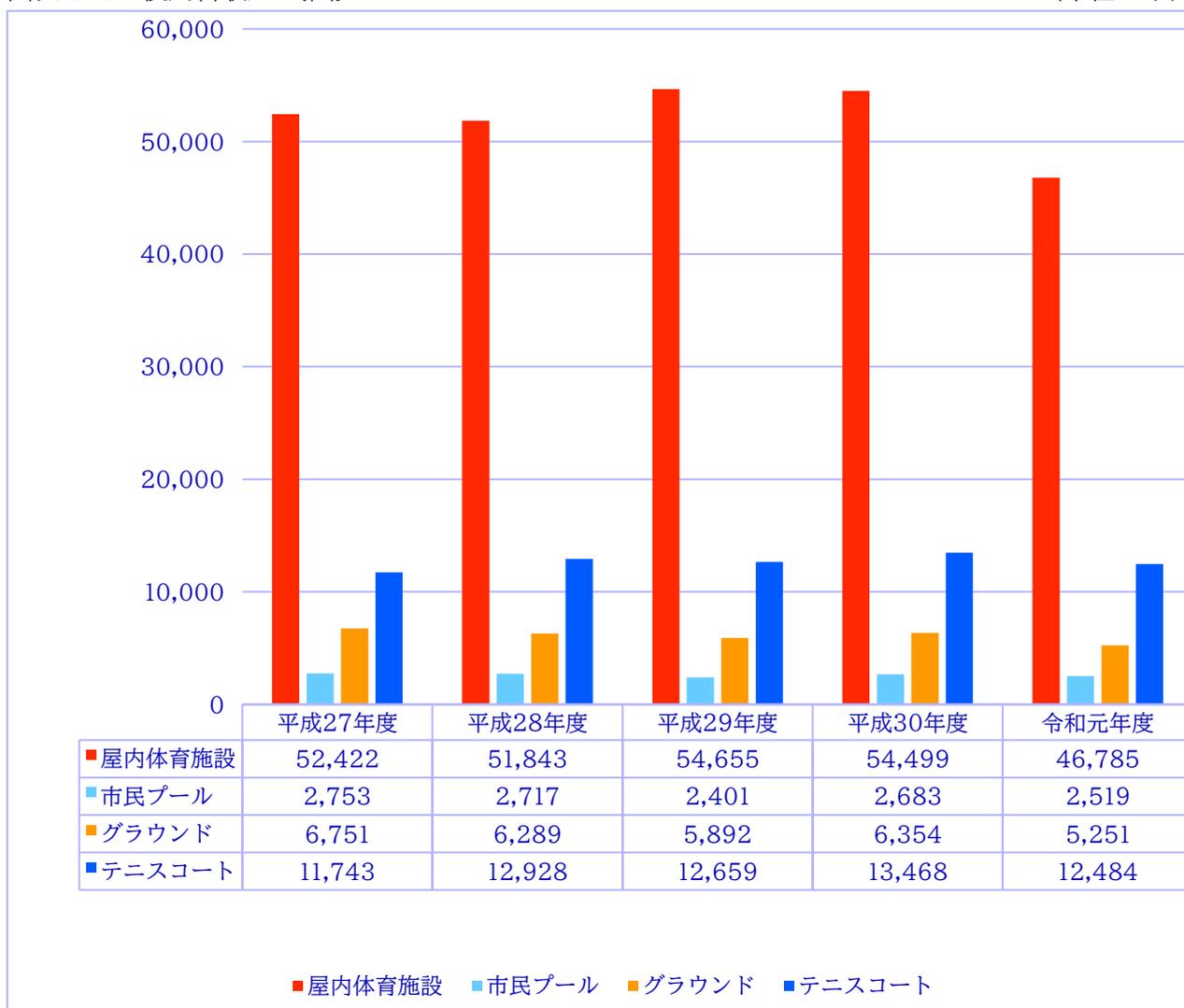


## (2) 使用料収入の推移

図表 2-4 で示すとおり、平成 27 年度から令和元年度の期間でいずれの施設も増減はあるが、概ね一定の範囲で推移していることが分かります。市民プールは夏季期間のみの営業、グラウンドは無料施設も多く屋内体育施設やテニスコートと比べ、収入は低くなっています。

図表 2-4 使用料収入の推移

(単位：千円)

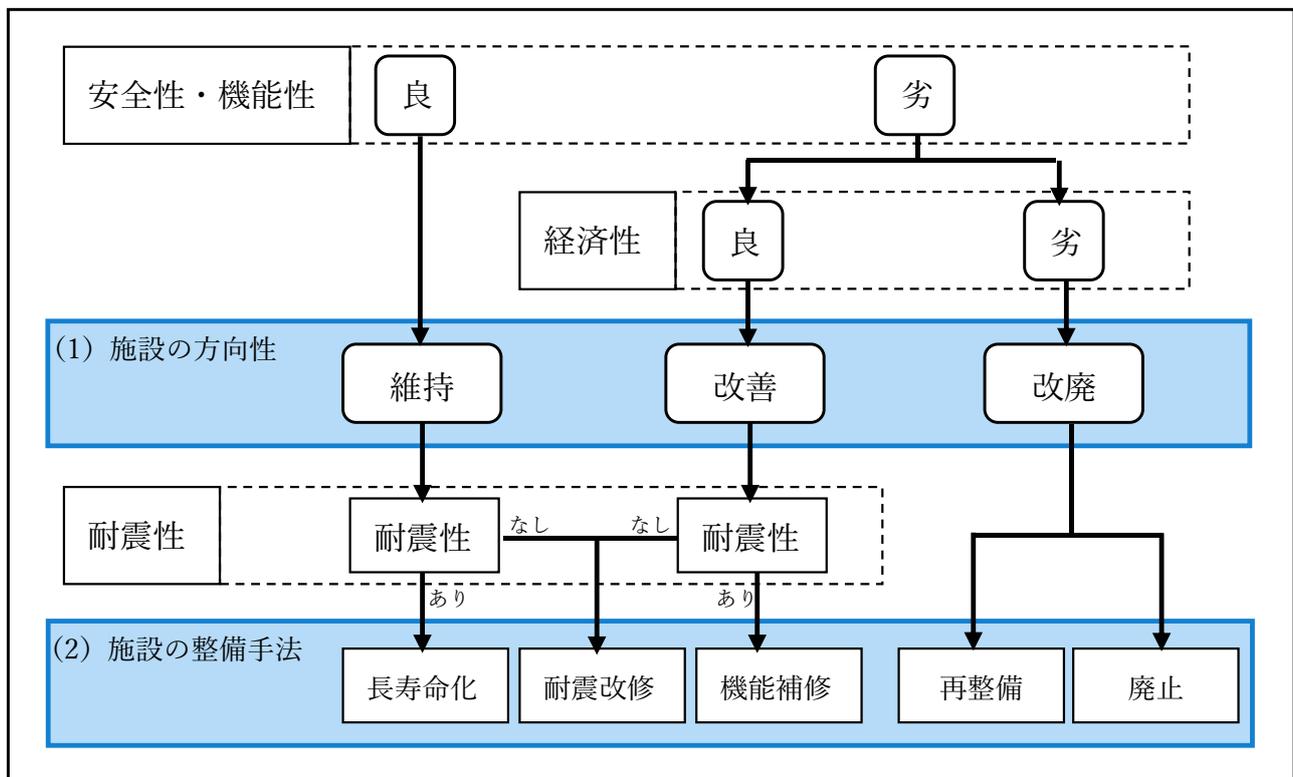


1 個別施設の方向性に関する検討の方針

「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン（スポーツ庁）」に基づき、各体育施設について「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」から1次評価を行います。

1次評価の評価方法は以下の図表3-1のフローに基づくものとします。

図表3-1 個別施設の方向性に関する検討（1次評価）のフロー



## 2 安全性・機能性

### (1) 劣化調査

図表 3-2 劣化判定基準に基づき令和 2 年度に職員及び施設管理者による劣化調査を実施しました。

図表 3-2 劣化判定基準

項目	基準
部位劣化状況	屋根・屋上、外壁、内装、グラウンド舗装、付帯設備の劣化状況をA～Dの基準で判定 A：概ね良好 B：部分的な劣化現象が見られる（機能性に問題なし） C：機能性が損なわれる劣化現象がある（機能性、不具合発生の兆しがある） D：早急に対応が必要（機能性に問題あり）
設備経過年数	電気・機械設備については、部位劣化状況を最終更新年からの経過年数で判断
劣化判定	部位劣化状況、設備経過年数から、劣化状況を判定 電気・機械設備：経過年数30年未満は「良」、30年以上は「劣」 その他：A・Bは「良」、C・Dは「劣」

### (2) 劣化調査結果

以下に施設劣化調査の結果を示します。劣化調査結果により安全性・機能性が「劣」であったのは七生自然学園テニスコートのみであったが、竣工から何十年も経過している施設も多いため、引き続き施設管理者と連携し日常点検を実施します。

#### 【市民の森ふれあいホール】

番号	調査項目（部位劣化状況）	状況	特記事項	評価
①	屋根・屋上	降雨時に雨漏りがある	有 無	B
②		天井等に雨漏り痕がある	有 無	2階談話スペース天井痕あり、修繕にて改善済み
③		既存点検等で指摘がある	有 無	A
④	外壁	亀裂がある	有 無	2階外壁東面外壁クラックによる室内漏水
⑤		塗装の剥がれがある	有 無	A
⑥		タイルや石が割れている	有 無	A
⑦	内装	床・壁・天井の損傷等	有 無	ホールフロアに一部剥離あり
⑧		内部建具（扉、窓等）損傷	有 無	A
番号	電気・機械設備における最終更新年からの経過年数			評価
①	電気設備	分電盤	8 年	良
②		配線・配管	8 年	令和2年度高压引込ケーブル修繕実施
③		昇降設備保守点検	8 年	年12回保守点検
④		その他電気設備	8 年	キュービクルの白華あり
⑤	機械設備	空調設備	8 年	冷温水発生機の機能性不足
⑥		給水配管	8 年	良
⑦		排水配管	8 年	良
⑧		消防設備の点検	8 年	良
⑨		その他機械設備	年	
安全性・機能性評価				良

【市民プール】

番号	調査項目（部位劣化状況）		状況	特記事項	評価	
①	屋根・屋上	降雨時に雨漏りがある	有 <del>無</del>	倉庫内1カ所（微量）・屋上防水コーキング1部剥がれ	B	
②		天井等に雨漏り痕がある	有 <del>無</del>		A	
③		既存点検等で指摘がある	有 <del>無</del>		A	
④	外壁	亀裂がある	有 <del>無</del>		A	
⑤		塗装の剥がれがある	有 <del>無</del>		A	
⑥		タイルや石が割れている	有 <del>無</del>		足洗い場一部破損	B
⑦	内装	床・壁・天井の損傷等	有 <del>無</del>	会議室床の凹凸・陥没 更衣室出入口床腐食	C	
⑧		内部建具（扉、窓等）損傷	有 <del>無</del>		A	
番号	電気・機械設備における最終更新年からの経過年数				評価	
①	電気設備	分電盤	1年	事務所内分電盤ブレーカー交換（メイン分電盤は公園）	良	
②		配線・配管	33年		劣	
③		昇降設備保守点検	年			
④		その他電気設備	33年		放送設備故障 会議室蛍光灯ハウジング故障	劣
⑤	機械設備	空調設備	7年	会議室・事務室エアコン取換え修繕	良	
⑥		給水配管	33年		H29、R2給水管水漏れ部分修繕実施	劣
⑦		排水配管	33年		R1汚水排水管一部修繕	劣
⑧		消防設備の点検	年2回		消防設備点検	良
⑨		その他機械設備	6年		監視カメラ（4台）	良
番号	屋外体育施設 劣化状況				評価	
①	グラウンド等舗装	（ 人口芝（フィールド） ）	有 <del>無</del>	芝の継ぎ目部分の不陸 年1回補修点検	B	
②		（ 土（トラック） ）	有 <del>無</del>		スタートライン付近の陥没 年1回1/4補修工事	B
③	付帯設備	（ 外周フェンス ）	有 <del>無</del>	一部曲がりあり	B	
安全性・機能性評価					良	

【陸上競技場】

番号	調査項目（部位劣化状況）		状況	特記事項	評価	
①	屋根・屋上	降雨時に雨漏りがある	有 <del>無</del>	倉庫内1カ所（微量）・屋上防水コーキング1部剥がれ	B	
②		天井等に雨漏り痕がある	有 <del>無</del>		A	
③		既存点検等で指摘がある	有 <del>無</del>		A	
④	外壁	亀裂がある	有 <del>無</del>		A	
⑤		塗装の剥がれがある	有 <del>無</del>		A	
⑥		タイルや石が割れている	有 <del>無</del>		足洗い場一部破損	B
⑦	内装	床・壁・天井の損傷等	有 <del>無</del>	会議室床の凹凸・陥没 更衣室出入口床腐食	C	
⑧		内部建具（扉、窓等）損傷	有 <del>無</del>		A	
番号	電気・機械設備における最終更新年からの経過年数				評価	
①	電気設備	分電盤	1年	事務所内分電盤ブレーカー交換（メイン分電盤は公園）	良	
②		配線・配管	33年		劣	
③		昇降設備保守点検	年			
④		その他電気設備	33年		放送設備故障 会議室蛍光灯ハウジング故障	劣
⑤	機械設備	空調設備	7年	会議室・事務室エアコン取換え修繕	良	
⑥		給水配管	33年		H29、R2給水管水漏れ部分修繕実施	劣
⑦		排水配管	33年		R1汚水排水管一部修繕	劣
⑧		消防設備の点検	年2回		消防設備点検	良
⑨		その他機械設備	6年		監視カメラ（4台）	良
番号	屋外体育施設 劣化状況				評価	
①	グラウンド等舗装	（ 人口芝（フィールド） ）	有 <del>無</del>	芝の継ぎ目部分の不陸 年1回補修点検	B	
②		（ 土（トラック） ）	有 <del>無</del>		スタートライン付近の陥没 年1回1/4補修工事	B
③	付帯設備	（ 外周フェンス ）	有 <del>無</del>	一部曲がりあり	B	
安全性・機能性評価					良	

【浅川スポーツ公園グラウンド】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( 人工芝 (フィールド) )	有・無	A
②	付帯設備	( 管理棟 )	有・無	塗装一部剥離
③		( 東西北側フェンス )	有・無	破れ・発錆
④		( 南側フェンス )	有・無	破れ・発錆
⑤		( 東側防球ネット )	有・無	
⑥		( 北側防球ネット )	有・無	
⑦		( 南側防球ネット )	有・無	
安全性・機能性評価				良

【北川原公園グラウンド】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( 土 (天然芝) )	有・無	芝養生期間を設けるなど手入れ実施
安全性・機能性評価				良

【実践女子学園グラウンド】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( 人工芝 (内野) )	有・無	A
②		( 土 (天然芝) (外野) )	有・無	A
③	付帯設備	( 防球ネット )	有・無	A
④		( ベンチ屋根 )	有・無	A
⑤		( 倉庫 )	有・無	A
⑥		( トイレ )	有・無	A
安全性・機能性評価				良

【万願寺中央公園グラウンド】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( 土 )	有・無	A
②	付帯設備	( バックネット )	有・無	発錆・塗装剥離
③		( ホーム裏ダッグアウト )	有・無	発錆・塗装剥離
④		( ダッグアウト )	有・無	発錆・塗装剥離
⑤		( ファールポール )	有・無	発錆
⑥		( 防球フェンス )	有・無	
安全性・機能性評価				良

【多摩川グラウンド】

番号	調査項目（部位劣化状況）		状況	特記事項	評価
①	屋根・屋上	降雨時に雨漏りがある	有・ <u>無</u>		A
②		天井等に雨漏り痕がある	有・ <u>無</u>		A
③		既存点検等で指摘がある	有・ <u>無</u>		A
④	外壁	亀裂がある	<u>有</u> ・無		B
⑤		塗装の剥がれがある	<u>有</u> ・無	階段発錆	B
⑥		タイルや石が割れている	有・ <u>無</u>		A
⑦	内装	床・壁・天井の損傷等	<u>有</u> ・無	倉庫内壁亀裂	B
⑧		内部建具（扉、窓等）損傷	有・ <u>無</u>		A
番号	電気・機械設備における最終更新年からの経過年数				評価
①	電気設備	分電盤	33年		劣
②		配線・配管	33年		劣
③		昇降設備保守点検	33年		劣
④		その他電気設備	33年		劣
⑤	機械設備	空調設備	33年	管理事務室内家庭用エアコン1台	劣
⑥		給水配管	33年		劣
⑦		排水配管	33年		劣
⑧		消防設備の点検	33年		劣
番号	屋外体育施設 劣化状況				評価
①	グラウンド等舗装	(土)	有・ <u>無</u>		A
②	付帯設備	(バックネット)	有・ <u>無</u>		A
③		(ファールポール)	有・ <u>無</u>		A
④		(外野ネット)	有・ <u>無</u>		A
安全性・機能性評価					良

【東光寺グラウンド】

番号	屋外体育施設 劣化状況				評価
①	グラウンド等舗装	(土)	有・ <u>無</u>		A
②	付帯設備	(バックネット (A面))	<u>有</u> ・無	発錆	B
③		(バックネット (多目的広場))	有・ <u>無</u>		A
④		(外野ネット)	有・ <u>無</u>		A
⑤		(外周フェンス)	<u>有</u> ・無	破れ・発錆	C
安全性・機能性評価					良

【多摩平第一公園グラウンド】

番号	屋外体育施設 劣化状況				評価
①	グラウンド等舗装	(土)	有・ <u>無</u>		A
②	付帯設備	(バックネット)	<u>有</u> ・無	破れ・発錆・塗装剥離	B
③		(防球ネット)	有・ <u>無</u>		A
安全性・機能性評価					良

【旭が丘中央公園グラウンド】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( 土 )	有・無	A
②	付帯設備	( バックネット )	有・無	C
安全性・機能性評価				良

【多摩平第一公園テニスコート】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( 人工芝 (1~4番コート) )	有・無	A
②		( 土 (5,6番コート) )	有・無	A
③	付帯設備	( 1~4番コートフェンス )	有・無	A
④		( 夜間照明 (6基) )	有・無	A
⑤		( 5,6番コートフェンス )	有・無	A
安全性・機能性評価				良

【旭が丘中央公園テニスコート】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( 人工芝 (3面) )	有・無	A
②	付帯設備	( 外周フェンス )	有・無	B
安全性・機能性評価				良

【七生自然学園テニスコート】

番号	屋外体育施設 劣化状況			評価
①	グラウンド等舗装	( ハードコート (4面) )	有・無	D
②	付帯設備	( 外周フェンス )	有・無	B
③		( ひさし )	有・無	C
安全性・機能性評価				劣

### 3 経済性

劣化調査結果が「劣」の七生自然学園テニスコートについては図表 3-1 施設の現状に基づく検討（1次評価）のフローに基づき、図表 3-3 が示す評価基準に基づき経済性に関する評価を行います。図表 3-4 で示されるとおり、七生自然学園テニスコートは収入/支出比率が 77%と高く、今後も施設利用が見込めることから判定を「良」とします。

図表 3-3 「経済性」評価基準

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>改善コスト、維持管理コストの発生が標準よりも少ない。</li> <li>収入が多く、今後も施設利用が見込める。</li> <li>維持管理コストが多く、収入も少ない施設であるが、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がある。</li> </ul>	→良
<ul style="list-style-type: none"> <li>改善コスト及び維持管理コストが多く、収入も標準よりも少ない施設で、維持管理・収入の運用面での見直しの可能性がない。</li> <li>相対的、若しくは目標値に対して、著しく状況が悪い。</li> </ul>	→劣

図表 3-4 経済性評価結果

施設名称	支出			使用料収入	収入/支出	経済性評価
	修繕費・工事費	管理費等	計			
七生自然学園テニスコート	148,500	5,606,314	5,754,814	4,448,850	77%	良

### 4 耐震性

市民の森ふれあいホール、市民プール管理棟、市民陸上競技場管理棟、多摩川グラウンド管理棟のいずれの施設も昭和 56 年 5 月 31 日の翌日以降に適用されている「新耐震基準」による建物のため、図表 3-5 に示すとおり耐震性は「有」と判断できます。

図表 3-5 耐震性評価

施設名称	竣工（年度）	構造	耐震診断	耐震改修	耐震性
市民の森ふれあいホール	平成 23 年度	RC	—	—	有
日野市民プール	平成 5 年度	RC	—	—	有
市民陸上競技場管理棟	昭和 62 年度	S	—	—	有
多摩川グラウンド管理棟	平成元年度	S	—	—	有

## 5 施設の方向性及び整備手法の検討結果（1次評価）

各体育施設における「安全性・機能性」「経済性」「耐震性」の評価結果から、施設の方向性及び整備手法の検討結果（1次評価）を図表 3-6 で示します。

図表 3-6 施設の方向性及び整備手法の検討結果（1次評価）

施設名	安全性・機能性	経済性	耐震性	1次評価
市民の森ふれあいホール	良	—	有	維持（長寿命化）
市民プール（管理棟有）	良	—	有	維持（長寿命化）
市民陸上競技場（管理棟有）	良	—	有	維持（長寿命化）
浅川スポーツ公園グラウンド	良	—	—	維持
北川原公園グラウンド	良	—	—	維持
実践女子学園グラウンド	良	—	—	維持
万願寺中央公園グラウンド	良	—	—	維持
多摩川グラウンド（管理棟有）	良	—	—	維持（長寿命化）
東光寺グラウンド	良	—	—	維持
多摩平第一公園グラウンド	良	—	—	維持
旭が丘中央公園グラウンド	良	—	—	維持
多摩平第一公園テニスコート	良	—	—	維持
旭が丘中央公園テニスコート	良	—	—	維持
七生自然学園テニスコート	劣	良	—	改善（機能補修）

### 1 基本方針の検討方法

「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(スポーツ庁)」に基づき、1次評価結果に、図表4-1で示す政策優先度の評価基準による評価を加味して施設の基本方針を定めるものとします。

図表4-1 政策優先度の評価基準

評価基準	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用が多い・稼働率が高い。</li> <li>圏域にそのスポーツの実施場所が無く、希少性が高い。</li> <li>大会等の開催等整備目的が明確で、目的に合致した利用がされている。</li> </ul>	➡高
<ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用・稼働率が低い。</li> <li>整備目的や施設内容と利用実態が整合していない。</li> </ul>	➡低

### 2 政策優先度の評価

政策優先度の評価を図表4-2に示します。稼働率の低い万願寺中央公園グラウンドは土日祝の稼働率が高いことや公式戦の開催施設として、東光寺グラウンドは市内で唯一のリトルリーグ・シニアリーグの練習場所として利用されるため、政策優先度評価は「高」となります。

図表4-2 政策優先度の分析

施設名	利用者人数(人)			稼働率(%)			大会等 開催有無	1次評価	評価
	H29	H30	R1	H29	H30	R1			
ふれあいホール	283,223	297,559	321,617	56	57	59	有	維持	高
市民プール	16,358	17,521	16,062	—	—	—	有	維持	高
市民陸上競技場	59,135	65,196	61,853	—	64	72	有	維持	高
浅川スポーツ公園 G	31,509	34,470	43,880	67	66	66	有	維持	高
北川原公園 G	15,005	13,180	15,575	98	100	100	有	維持	高
実践女子学園 G	—	5,645	6,084	—	—	—	有	維持	高
万願寺中央公園 G	14,070	16,935	18,461	37	39	35	有	維持	高
多摩川 G	51,110	55,894	55,972	51	50	44	有	維持	高
東光寺 G	11,791	11,650	14,568	39	41	52	無	維持	高
多摩平第一公園 G	16,148	16,138	14,675	70	69	63	無	維持	高
旭が丘中央公園 G	17,445	18,275	18,765	56	50	48	無	維持	高
多摩平第一公園 T	48,830	48,311	38,418	64	66	60	有	維持	高
旭が丘中央公園 T	20,819	21,012	20,422	73	75	73	有	維持	高
七生自然学園 T	13,471	13,840	12,789	40	41	40	無	改善	高

※G：グラウンド T：テニスコート

### 3 基本方針

---

本市における体育施設については、1次評価及び2次評価で得た方向性をもって、現施設数を維持します。管理棟を含む屋内体育施設の改築・更新等については、さらに長寿命化の視点から検討します。

また、グラウンドに関しては設置設備の劣化によって利用者への重大な事故を防止するため、定期的な日常点検に加え、法定耐用年数を超える設備に関しては修繕等に対応し、各施設の人工芝についても同様の対応をとります。なお、市民陸上競技場については現在の7レーントラックから公認の全天候型8レーントラックへの改修の要望を受けているため、補助金や民間企業の資金の活用を含め改修について検討していきます。テニスコートに関しては、安全性・機能性の評価が「劣」であった七生自然学園テニスコートの修繕を重点的に進めるとともに、日常の維持保全により管理します。また、市民プールについては、プールサイド・プール槽をはじめ全体的な劣化が進行しているため、日常点検及び随時必要な修繕を行います。

## 1 予防保全・長寿命化への転換の取組

これまで公共施設については、部位・設備等について、事故や故障等の不具合が起こった後に改修する事後保全を行ってきました。事後保全は修繕範囲が部位・設備の単位の範囲で済むため、全体機能に与える影響が少なく、短時間で行うことができることから作業性は良いが、突発的な事故、機能停止等の重大な被害に繋がる可能性があり、安全・安心・快適な施設利用ができなくなるうえ、改修費用は大規模改修に比べ一時的に抑えられるが、改修頻度が増えることで長期的には高額になります。一方、予防保全は劣化により事故、機能停止等の重大な被害を防止するため、予防的な保全の観点により耐用年数等を考慮して定期的な改修を行うことから、より安全・安心・快適な施設利用ができるうえに、計画的な改修等の実施、予算計上が可能となります。

このため、不具合が生じてからの事後保全や改築を行ってきたこれまでの方針から、施設点検等により施設の老朽化状況を把握しながら行う予防保全を行い、できるだけ施設を長く使い続ける長寿命化を図る方針へと転換を図ることで、中・長期的な維持管理等に係る費用の縮減と平準化を実現します。

## 2 整備方針

公共建築物は60年で改築する従来の整備方式から、長寿命化を図る整備方式へ切り替えます。長寿命化においては、体育施設の目標耐用年数を80年とし、竣工後40年で機能向上のための長寿命化改修を行うとともに、必要に応じて施設照明のLED化改修を実施します。

また、施設について予防保全を行いながら、適切に長寿命化を図るために建物を構成する主要な部位別及びグラウンド等の公共建築物以外の施設に設置される設備についての修繕周期を図表5-1に示します。最終の更新・改修年を基点として修繕周期経過時に修繕を行うものとします。また、修繕周期等が重なることで、単年度に費用が集中する場合は、修繕時期をずらす等により保全費用の平準化を図ります。

図表5-1 修繕周期

部位	周期	部位	周期
長寿命化改修	40年	グラウンド（土）	30年
屋根・屋上	20年	人工芝	10年
外壁	20年	ハードコート	10年
内部仕上げ	20年	フェンス	10年
電気設備	30年	バックネット・防球ネット	15年
機械設備	30年	ダッグアウト	15年
空調設備	15年	夜間照明	15年

### 3 年次計画の策定

#### (1) 年次計画の策定

本計画期間の令和 28 年度 (2046 年度) までの体育施設の修繕・改修に係る年次計画を個別施設ごとに作成します。日野市公共施設等総合管理計画に記載されているスポーツ施設における建替え単価を活用し、図表 5-2 に示す各部位に係る改修料金の試算条件及び業者見積から次頁図表 5-3 に示す年次計画を作成します。なお、劣化調査や日常的な点検、設備経過年数から、対応が必要となっている項目は、年次計画に関係なく早期 (概ね前後 5 年以内) に修繕を行うものとしします。

※単価は目安であり、着工前に詳細な設計等を行い精度の高いものを算出する。また、大規模改修時の各種調査費や設計費は年次計画には含まない。

図表 5-2 試算条件

費用区分		費用内容	周期	単価設定方法
改築	通常	施設の改築にかかる費用	60 年	360,000 円/㎡
	長寿命化		80 年	
長寿命化改修		施設の長寿命化改修にかかる費用	40 年	改築の 60%
部位修繕	屋根・屋上	対応が必要な部位の補修にかかる費用	20 年	改築の 4%
	外壁		20 年	改築の 6%
	内部仕上げ		20 年	改築の 6%
	電気設備		30 年	改築の 5%
	機械設備		30 年	改築の 5%
	空調設備		15 年	改築の 4%





## (2) 年次計画の解説

図表 5-3 年次計画について施設ごとの改修内容を下記のとおり解説します。

### ①市民の森ふれあいホール

令和 2 年度に実施した建築基準法に基づく「特定建築物定期点検」の点検結果より、令和 3 年度に漏水詳細調査、令和 4 年度に外壁及び内壁のノンカットひび割れ補修、令和 5 年度に外部通路段差の地盤改良を行います。また、令和 8 年度以降は修繕周期に基づき部位別修繕を行います。

### ②（仮称）南平体育館

令和 3 年度竣工予定の当該体育館は翌年度以降から修繕周期に沿って修繕を行います。

### ③市民プール

令和 4 年度に 50m プールサイド修繕、令和 6 年度に内部仕上げ（更衣室床等）の修繕、令和 9 年度はアプローチ、よしず受けに加え、循環浄化装置等プール機器の修繕を実施。令和 15 年度には管理棟の長寿命化改修を行います。

### ④市民陸上競技場管理棟

昭和 62 年度竣工のため屋根防水や外壁、内部仕上げ等は修繕周期を超えているが、令和 6 年度にトラック、人工芝を含めた大規模改修を検討します。以降、修繕周期に沿って修繕を行います。

### ⑤多摩川グラウンド管理棟

平成元年度竣工のため屋根防水や外壁、内部仕上げ等は修繕周期を超えているが、令和 11 年度に長寿命化改修を行います。

### ⑥陸上競技場

土の 7 レーントラックから全天候型 8 レーントラックへの改修を、人工芝フィールド、外周フェンス、管理棟と併せて令和 6 年度に実施。以降、修繕周期に沿って修繕を行います。

### ⑦浅川スポーツ公園グラウンド

令和元年度に竣工した人工芝フィールド等を修繕周期に沿って修繕を行います。また、現在四方を囲っているフェンスを令和 6 年度に南側防球ネットと同じ高さの防球ネットに統一し、以降、修繕周期に沿って修繕を行います。

### ⑧北川原公園グラウンド

毎年天然芝の養生期間を設けるなど芝の手入れをしているため、令和 13 年度に土の入替を行います。

### ⑨実践女子学園グラウンド

平成 29 年度竣工のグラウンドは修繕周期に沿って令和 9 年度に内野人工芝の修繕を行います。

#### ⑩万願寺中央公園グラウンド

平成 13 年度竣工のダッグアウト、防球ネット、バックネット、フェールポールは修繕周期を超えているが、劣化状況が著しくないため、施設全体の修繕費の平準化を図るため令和 8 年度に修繕を行います。

#### ⑪多摩川グラウンド

令和元年 10 月の台風 19 号の影響で令和元年度に全面改修を行った多摩川グラウンドは修繕周期に沿って修繕を行います。

#### ⑫東光寺グラウンド

南側フェンスは劣化調査でも「C」判定であったため、令和 5 年度に張替え等の修繕を行います。A 面バックネットは修繕周期を超えているが、劣化が著しくないため令和 8 年度に再設置を行います。以降、修繕周期に沿って修繕を行います。

#### ⑬多摩平第一公園グラウンド

グラウンドの土入替、バックネット、防球ネットともに修繕周期を超えているが、施設全体の修繕費の平準化を図るため、グラウンドの土入替及びバックネットを令和 8 年度に、比較的状态の良い防球ネットを令和 12 年度にそれぞれ修繕を行います。

#### ⑭多摩平第一公園テニスコート

平成 26 年度に改修した 1～4 番コートの人工芝の法定耐用年数は 10 年であるが、平成 22 年度に竣工した旭が丘中央公園テニスコートの人工芝の状態は比較的良好なため、現在敷設されている人工芝は竣工から 14 年で張替えます。よって本テニスコートは令和 10 年度に人工芝の張替えを行い、以降、修繕周期に沿って修繕を行います。5、6 番コートのクレーコートは 2 年に 1 回掘起し工事を行います。

また、水俣条約の担保法の規約により、令和 3 年以降国内における水銀ランプの製造、輸出入が禁止されたことに伴い、令和 4 年度に夜間照明の LED 化改修を行います。

#### ⑮旭が丘中央公園テニスコート

平成 22 年度に竣工した人工芝コートの法定耐用年数は 10 年であるが、状態が比較的良好なため、令和 6 年度にフェンス修繕と併せて張替え修繕を行います。以降、修繕周期に沿って修繕を行います。

#### ⑯七生自然学園テニスコート

ハードコートのクラック等により著しく劣化しており、利用者の安全確保に課題があるため、雨天等によるコートコンディションの回復が早くイニシャルコストを抑えられる人工芝コートの改修工事を 1～3 番コートで行います。また、ハードコート利用者への配慮から 4 番コートのみハードコートとして再整備します。

### 1 情報基盤の整備と活用

今回実施した体育施設の点検・診断の結果は、今後の維持管理・更新の基礎資料となる重要な情報であるため、点検・劣化調査後に修繕等を行った場合の修繕履歴とともに記録することで、効率的な維持管理を行うことができます。

経常修繕費等の施設関連経費や利用料収入、利用者状況等をはじめ、修繕履歴、劣化情報等を取りまとめ、適切に管理し、改修内容や改修時期について、総合的に判断するための情報として活用します。

### 2 推進体制と各事業への取組

本計画を実現性のあるものとして運用するために、施設所管課、財政課、施設管理者が連携し、利用者や地域と合意形成して推進していきます。

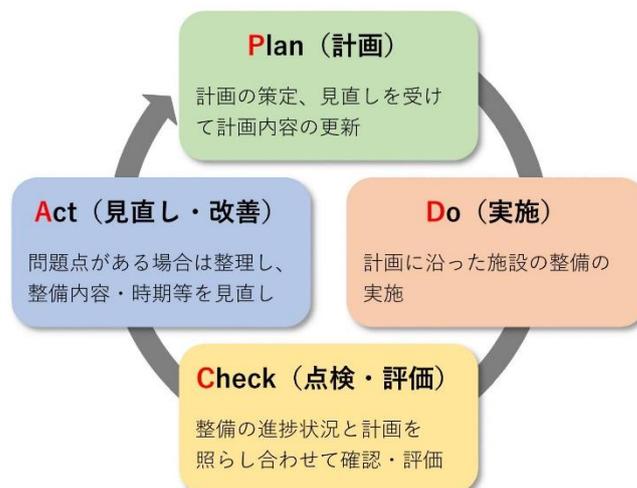
各事業への取組については、本計画を指針として日常的な点検や建築基準法に基づく「特定建築物定期点検」により施設の老朽化状況を常に把握し、関係部署や団体、利用者ニーズを反映しながら段階的に整備を推進していきます。

### 3 計画のフォローアップ

本計画の見直しは短期計画期間の最終年度である令和7年度とするが、各種点検の結果を基に、計画の変更等が必要な場合は適宜見直しを行うものとします。

点検結果の中で緊急性を要する修繕・改善事項や優先順位の高い修繕・改善事項の情報を受けて、年次計画における修繕事項等と異なっている場合は、必要に応じて改修等の優先順位の見直しを随時行います。また、短期計画期間においては、PDCAサイクルを展開し、適切に評価・改善をし、本計画に実行性をもたせていきます。

図表 6-1 PDCA サイクルのイメージ



## 日野市体育施設個別施設計画

令和3年(2021年)3月策定

日野市産業スポーツ部文化スポーツ課スポーツ係  
〒191-8686 東京都日野市神明1-12-1  
TEL : 042-514-8465 FAX : 042-581-2516  
E-mail : sports@city.hino.lg.jp